

令和5年度第2回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 令和5年10月25日(水)午後2時から午後4時まで

場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室

出 席 者 齊藤由里恵、金澤敦史、倉知英治、志水佳三、小芦圭吾、三隅晋吾、上田信子、黒田忠晃、堀口 裕 (敬称略)

欠 席 者 なし

事 務 局 萩野一志 (総合政策部長)、岩瀬雅哉 (同部調整監)、小出誠二 (同部次長兼企画政策課長)、白木 誠 (同課課長補佐)、山浦勝義 (同課企画経営係長)、水谷大介 (同課同係主査)

説明のために出席したものの傍聴の可否 大橋大泉 (都市整備部都市計画課長)、川合陸仁 (同課主幹)

傍聴の有無 石原直樹 (都市整備部下水道課長)、鈴木亜宙 (同課課長補佐)

次 第 可

無

1 開会

2 あいさつ

3 議題 (1) 外部評価 (緑化の推進～緑化推進事業) について
(2) 下水道使用料の検証について

4 閉会

配 付 資 料 資料1 外部評価対象事業 (緑化の推進)
資料2 下水道使用料の検証について
資料3 サウンディング調査について
参考資料 目標15関連予算

発 言 者	内 容
事 務 局	1 開会
	2 会長あいさつ
	3 議題 (1) 外部評価 (緑化の推進～緑化推進事業) について (2) 下水道使用料の検証について
	4 閉会
会 長	議題 (1) 外部評価 (緑化の推進～緑化推進事業) について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料1に基づき説明)
会 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見はございませんか。
委 員	緑化推進の具体的な方法を教えてください。
都 市 計 画 課	緑の基本計画に掲げており、管理された森林、田畑を公共、市民、企業が可能な範囲で保護し、緑化保護の意識向上を目指しています。

発 言 者	内 容
委 員	子どもから、開発で山を削って木を切り、その後、お金を出して、木を植えるのはなぜかと聞かれました。緑の保全も必要と思いますが、人工的に緑地を作る理由は何ですか。
都 市 計 画 課	開発と保全のバランスを見て、自然と道路や宅地の調和した街を作るためです。
委 員	自然にある緑を残し、開発する事はできませんか。
都 市 計 画 課	緑を残して開発した地区もありますが、道路や住宅の利便性との兼ね合いがあり、地区を限定しました。
会 長	他にありますか。
委 員	農地や市民農園は目標に入っていますか。
都 市 計 画 課	その目標は記載していません。
会 長	報告書の内容は都市緑化の推進部分で良かったですか。
都 市 計 画 課	そのとおりです。
会 長	資料5ページに、緑化推進の7事業が記載されていますが、個人や企業の分けなく事業を推進しているのですか。
都 市 計 画 課	そのとおりです。
会 長	緑化推進事業は内容により実施する地区が決まっていますか。都市計画課が行う緑化推進事業は、新たな担い手を探すのか、成熟した事業なので、活動をしている市民に任せるのか、どちらですか。
都 市 計 画 課	活動希望があれば話は伺いますし、担い手を探しています。
会 長	目標は、市民に緑化を体験してもらい、持続可能な範囲で、地域に緑化活動として還元してもらうことですか。
都 市 計 画 課	そのとおりです。
委 員	地域特性に応じた景観の維持とありますが、どう事業を推進するのですか。
都 市 計 画 課	地域により市街地、田園地区、森林地区の特性に合わせた緑化推進を、市民や企業の方々にしてもらいます。
会 長	市民が住む地域特性に応じた緑化を進めるということですか。
都 市 計 画 課	そのとおりです。緑の基本計画で小学校区ごとの地域目標を決めています。
委 員	地域ごとの特性に応じた緑化推進事業は、緑化推進の7事業に集約されていますか。
都 市 計 画 課	そのとおりです。
会 長	その他ございますか。第3回は、都市計画課から、市民意識調査の結果分析を説明してもらう予定です。また、小学校区ごとの地域特性がわかる、資料の概要版があれば提示をお願いします。
会 長	続きまして、議題（2）下水道使用料の検証について説明をお願いします。
下 水 道 課	（資料2に基づき説明）
会 長	これまでの経費削減の取り組みや下水道会計の仕組みの説明、現状分析や将来の収支予測の結果、経営改善の必要性があるという説明でした。ポイントは、汚水処

発 言 者	内 容
	理にかかる費用を下水道使用料で回収するため、経費回収率 100%を目指していかなければならないという点でした。100%を達成できない場合、下水道事業の経費不足分は、一般会計から繰入をしなければならないが、繰入金は全体の市民の税金であり、下水道使用の有無と関係なく、下水道事業の補てんに使われている。下水道の便益を受けている人が負担すべきであり、公平性の観点からも経費回収率 100%を目指す必要性について説明がありました。
委 員	平成 25 年の下水道使用料改正の際は、経費回収率 100%になりましたか。
下 水 道 課	100%になっておりません。あくまで途中の段階として一部改正を行ったものです。
委 員	今回は 100%を目指すということでしょうか。
下 水 道 課	下水道事業は装置型事業であり、広いエリアを処理できる処理場を事業開始時から整備する必要があります。そのため、最初から使用者に負担を求めると、一部の使用者に重い負担がかかることとなります。また、整備を促進し、本来想定される使用者に利用いただく形を早期に実現するため、一般会計からの繰入を行っていました。しかし、市街化区域の整備がほぼ完了した現状においては、資料で説明のとおり、公平性を考える時期を迎えていると考え、経費回収率 100%を目指す提案をしております。
会 長	他にありますか。
委 員	経費回収率 100%を目指す必要性と根拠を整理した資料であり、説得力がある内容のため、やむを得ないのかなと思いました。 市民会館やスポーツセンターなどは、一般会計の負担で低料金となっていますが、下水道は、上水道・電気・ガスのように利用者が負担することが大前提となっている理解でよろしいでしょうか。
下 水 道 課	そのとおりです。
委 員	国からも交付金の要件として経費回収率 100%を目指すロードマップを示すことが求められている点も踏まえると、やむを得ないのかなと思います。 下水道処理施設の整備について、南部浄化センター地区は人口が増えたため、工事が必要なのですか。
下 水 道 課	南部浄化センター地区は、区画整理事業等による人口増加が見込まれるため、処理場の増設工事は必要です。
委 員	現状において下水道が整備されていない地域の方から、下水道整備の要望が出る可能性もあると思いますが、どのようにお考えでしょうか。
下 水 道 課	市街化調整区域は整備を進める前提で、資本的収支の予測を行っております。しかし、整備が完了しなければ、経費回収率 100%を目指さなくてよいというものではなく、本市においては、市街化区域の整備がほぼ終了した状況であり、経費回収率 100%を目指す必要があると考えております。また、国においても、全国的に下水道整備が進み、一般会計からの繰入を見直す時期と考えている状況でありま

発 言 者	内 容
	す。
委 員	仮に使用料改定となった場合には、今回の説明で示された視点で、住民にも説明をしていく理解でよろしかったでしょうか。
下 水 道 課	同様の視点で説明を行う予定です。
会 長	他にありますか。
委 員	概ねよろしい内容ではないかという感想です。 改定率 25.6%の（目安）は、どういった意味でしょうか。
下 水 道 課	下水道事業全体で算定すると、25.6%改定が必要であるという広い視点で説明を行っているため、目安の表示をしております。次回は、料金体系を精査し、大口需要家、一般家庭等で、個別に数値を算定したものをお示しする予定としており、そうすることで改定率が決まります。
会 長	令和 12 年度以降の改定率は現在の料金単価から見ての値と考えてよいですか。
下 水 道 課	そのとおりです。
会 長	下水道使用料の改定は市民生活、企業活動に影響を与えるものと思っています。しかし、市民生活・経済活動を停滞させないためにも、施設メンテナンスを含む事業・経営の健全運営が必要な事業となります。 将来の事業状況のシミュレーションは、ある程度ご理解いただける内容だったと思います。シミュレーションにおいて重要となる有収水量に関しては、家庭・事業所を細かく分けて推計している点が今回のポイントだと思います。また、支出のシミュレーションにおいては、12・14 ページで示された前提の条件が重要となります。前提条件の設定でお気づきの点があれば、ご発言いただければと思います。
委 員	（指摘事項なし）
会 長	公的な事業であるため、過大な見積りをするには使用料に反映することもあり、難しい面があります。しかし、少なく見積ると経営状況に厳しい影響を与えるため、その点を踏まえたシミュレーションになっているかと思います。 委員の皆さんにおかれましては、改定率 25.6%はご理解いただけるということでもよろしかったでしょうか。
委 員	（異議なし）
会 長	ありがとうございます。それでは、改定についてはご理解いただけたということですので、次回は下水道課から説明があったとおり、具体的な料金体系の検討を行うこととなります。準備をよろしくお願いします。以上をもちまして本日の議事を終了します。それでは、事務局へお返しします。
事 務 局	資料 3 をご覧ください。現在、学び支援課が所管するスポーツ施設のサウンディング調査に取り組んでいます。こちらは今後も必要に応じて進捗状況を報告させていただきます。議題につきましては、いただいた提案、ご意見を踏まえ、準備を進めてまいります。本日の委員会はこれにて閉会します。

発 言 者	内 容
	4 閉会